

令和3年度 みやまの森学童クラブ 職員自己評価

教育保育理念

園における生活を通じて生きる力を育成するよう努め、義務教育及びその後の教育の基礎を培うとともに、保護者と共に園児を健やかに育成するものとする。

【評価 5:できている 4:ほぼできている 3:どちらともいえない 2:あまりできていない 1:できていない】

	質問内容	評価	評 価
教育課程・指導	みやまの森学童クラブの教育保育目標を理解し、実践している。	4.2	新たな取り組みとして夏休みにディベート大会、冬休みに駅伝大会を行い、子ども達自ら熱心にグループで事前準備を重ねる良い機会となった。また、理科実験の一環として綿アメ作りや海水から塩作りを行い、それをういて料理をしたりと、興味や意欲をかきたてる内容であったことから、子ども達が自立的かつ対話的に取り組むことができた。支援員が事前に準備をしても、思い通りにいかず、慌てる場面もあったことから、今後は、子ども達自身で事前に考え、話し合い、より周到な準備ができる様、大人の関わり方を見直していきたい。
	年間目標を理解し、計画的に実践している。	3.8	
	児童個々に応じた指導・関わりは適切である。	4.1	
	各種行事は計画に基づいて適切に準備できている。	3.8	
	職員間のチームワークや、連絡体制等、連携ができています。	4.3	
	長期休暇中は、児童のしたいことや、興味のあることを取り入れている。	4.2	
	研修・研究への意欲・態度は適切である。	4.1	
環境・安全管理	安心・安全を第一に考えて、施設内や環境整備や児童自身が安全に気をつけて行動できるように援助できている。	4.1	コロナ禍もあり、普段以上に衛生対策を徹底し、学室内での感染拡大を防ぐことができた。また、事故やケガが起こらないよう高学年を中心に、自分たちでルールを作ったり、確認作業を行った。新たな取り組みとして、読書のためのミニスペースを作り、「図書室」と名付け、子ども達が本を身近に感じ、読書を習慣化することにつながった。
	子どもたちの思いや言動を参考にしながら、クラスの装飾や展示を考えている。	3.5	
	体調不良児への対応や、投棄の流れ、ルールの把握と実行には配慮して対応することが出来ている。	4.3	
	緊急時(事故・感染症の発生時など)の対応などの体制が整備されている。	4.3	
子どもとの接し方	その場にふさわしい言葉遣いや、すべての子どもに平等に接している。	4.1	一人ひとりの個性にあわせた言葉かけを心掛け、信頼関係を築くことが出来ている。今後の課題①個々の学習習熟度が異なり学童時間内の対応だけでは不十分なため、保護者と現状を共有する方法の確立②児童リーダーの低学年時からの計画的な育成
	家庭での様子や発達の個人差を考慮し、子どもの思いを大切に援助を工夫している。	4.4	
	児童が主体的・協同的に班活動や行事を行い、学年相応の社会性を、修得できるようにしている。	3.7	
との連携	保護者への情報の発信と受信は適切である。	4.2	送迎時の対話はもちろん、学童便り配布、掲示板やサイネージの活用等、日常的なコミュニケーションに加え、個人面談も行い、多くの保護者と良好な連携体制を構築している。但し、配布物を確認しないなど、関心の薄い保護者への効果的な伝達方法が、今後の課題である。
	学童だよりの内容や配布頻度、時期は適切である。	4.2	
	学童クラブ全体で協力、支援体制ができ、保護者対応は適切である。	4.3	
食事の提供	献立は、旬の食材を使い、バランスの良い給食を心掛けている。	4.5	有機や減農薬野菜を仕入れ、自家農園の野菜を使用する等、安全な食材を使用し、栄養士が作成したバランスの良いメニューや手作りおやつを提供している。また、アレルギーや矯正などの情報を保護者と共有し、一人ひとりの状況に合わせた対応をしている。コロナ禍の為、長期休み中の給食は密を避け、黙食を徹底し、平日のおやつは、持ち帰りとする対策をとった。
	みやまの森の畑で収穫した野菜を工夫しながら給食に取り入れている。	4.5	
	アレルギー対応児の食事提供は、問題なかった。	4.5	
	担当者間のチームワークで、子どもたちに喜ばれる食事・おやつ時間の提供に努めた。	4.3	
	衛生面の徹底に努めた。	4.5	
その他	地域住民やこども園の園児・保護者も、親しみやすい雰囲気づくりを大切に行っている。	4.1	コロナ禍であったため、地域住民や保護者との交流はできなかったが、学園が所有する森や広場など、密を避けることが出来る自然環境を活かし、幼小連携を念頭に、こども園園児との合同の行事を実施した。児童への支援はもちろん、保護者や外来者に対しても誠実な対応を心掛けている。コロナ禍も3年目と長引き、対応に時間を取られる場面も見られた。
	地域への情報発信や交流・連携は積極的に行われている。	3.0	
	遅刻等ないように就業規則を理解し、誠意をもって業務遂行にあたっている。	4.9	
	健康面等、自己管理に気を付けている。	4.3	
	挨拶電話対応等外部への対応は適切に行っている。	4.1	